

～世界で活躍する
ナガサキ・ユース代表団と学ぼう～

ワールドキャンプ
in Odawara
成果発表会

平成30年11月23日（金・祝）13時30分～
おだわら市民交流センターUMECO



◎事前学習◎

- ▶ 日時 平成30年8月7日（火）13時30分～15時30分
- ▶ 場所 小田原市役所 6階601会議室
- ▶ 内容 (1) 事業趣旨の説明
(2) 自己紹介
(3) 日程・学習課題の説明
(4) 戦争体験記録映像鑑賞
「戦争のない平和な社会を次の世代へ」

◎事前学習・戦争体験記録映像 「戦争のない平和な社会を次の世代へ」 ～小田原にも空襲があった～



<listen & think & write >
(4班)

<概要と感想>

僕たちは、戦争体験記録映像を見ました。
戦争を体験した方々の話を聞き、戦争の恐ろしさを学びました。

内容は、戦時下の生活と小田原空襲についてです。戦時下の生活では配給制度が始まり、政府が決めた値段で売買されました。また、小学校は国民学校と名が改められ、日頃から防火訓練や竹やり訓練が行われ、日々精神を鍛えられました。

女学生は工場で働き、飛行機などの部品を作りました。その工場の中には今につながる日清などの工場もありました。小田原は戦争が終わる間近に空襲を受け、多くの人が亡くなり、その空襲の名残が今も残っています。

この映像を通して小田原に空襲が落ちた驚きと悲しみを実感しました。

◎宿泊学習 1 日目◎

- ▶ 日時 平成30年8月16日(木)
- ▶ 場所 小田原市尊徳記念館
- ▶ 内容 (1) ナガサキ・ユース代表団について
(2) 長崎の被爆の実相について
(3) 今日の核兵器について
(4) 核抑止論について

講師：ナガサキ・ユース代表団

◎宿泊学習 1 日目 ナガサキ・ユース代表団について



<ナガサキ・ユース代表団の人に話を聞いている様子>
(2班)

<概要と感想>

ナガサキ・ユース代表団とは、長崎県・長崎市・長崎大学が共同して主催している団体です。核について学び、学習会などを行って国際会議に参加しています。そこでは、世界中の様々な人と出会い意見を交流させることで成長していきます。これまでにユネスコなどの国際機関に訪問して、「人の心の中に平和の砦（とりで）を築く」ということを学んだそうです。

私たちは、ナガサキ・ユース代表団の方々に会うまでどんな人たちか、何をしているのか、何もわからなかったけど、実際に会ってナガサキ・ユース代表団について教えてもらって、どんな活動をしているのか知ることができました。

3日間、ナガサキ・ユース代表団の方と過ごして、とても話しやすく楽しかったです。今度は私が行って、ナガサキ・ユース代表団の方々と活動したいと思いました。

◎宿泊学習 1 日目 長崎の被爆の実相について



<ナガサキ・ユース代表団の話を聞いている様子>
(5班)

<概要と感想>

長崎では、爆風、熱線、放射線がすごく、爆風は音よりも速い秒速440メートルで建物や自然がなくなり、太陽と同じくらいの3000~4000度で焼かれて、放射線は色、形、臭いがないので、放射線を浴びて知らないうちに病気になったりなどの影響を受けました。今の長崎大学の場所にあった工場も骨組みだけになってしまいました。

このような被害を受けて、爆風、熱線、放射線はものすごく怖いと思いました。そして、自分たちも人ごとではないと身近に感じました。一瞬で家がなくなってしまうのが、怖いと思いました。

◎宿泊学習 1 日目 今日の核兵器について



<核兵器の数を音で感じている様子>

(3班)

<概要と感想>

今、世界には1万4450発の核兵器があります。それをBB弾シュミレーションで感じました。今は、ロシアやアメリカが多くの核兵器を保有しています。核兵器を持っている国は、国を守るため、お金を得るため、外交のために核を必要としています。一方、核兵器を持とうとしない国は持っているだけでリスクがあり、被害が長く続き、一度に多くの命が奪われてしまうので、核を必要としません。今、世界で一番威力が強いと言われている核兵器は、「ツァーリボンバー」です。これは広島に落とされた原爆の3000倍で尊徳記念館に落ちたら、神奈川県が消えてしまうほどの威力があります。

今、世界にある核兵器の数を音で聞いて、多いなと思いました。少しでも世界から核兵器が減ればいいなと思いました。

◎宿泊学習 1 日目 核抑止論について



<ディベートの様子>

(1班)

<概要と感想>

核について賛成か反対かをディベートしている様子です。

感想は、自分は、反対派なのに賛成している人たちの立場になって考えました。だけど賛成する理由がなくとも頭を使いました。

核についてメリットは確かにあるけどデメリットの方が多すぎて、私は賛成派の気持ちは理解することが難しかったです。

核抑止論は簡単には回避できない気がしました。

◎宿泊学習 2日目◎

- ▶ 日時 平成30年8月17日（金）
- ▶ 場所 市内各所及び小田原市尊徳記念
- ▶ 内容 （1）市内戦争遺跡巡り
講師：井上 弘さん
（戦時下の小田原地方を記録する会 事務局長）
- （2）グループワーク
「私たちが創る平和のまち小田原」について考えよう
- （3）戦時下の食事体験（炊事）
講師：小田原市食生活改善推進団体

◎宿泊学習 2日目・市内戦争遺跡巡り ①傷痍軍人箱根療養所



<本館を見ている様子>

（5班）

<概要と感想>

箱根療養所は風祭の国立病院機構箱根病院内にあります。日露戦争の戦争者を収容するための施設であった廃兵院は、1906年（明治41）に東京巢鴨に設立されました。

その後廃兵院は、傷兵院と名称変更した後、1936年（昭和11）に風祭に移されました。

また、当時の建物として奉安殿（天皇・皇后の御真影や教育勅語などを収めていた建物）が現存しています。

箱根療養所は。僕が思ったよりも洋風で、きれいな場所でした。昔、幼い頃から兵隊として働かされ、大けがまでをおうことになってしまった人たちが、とてもかわいそうだと思いました。

◎宿泊学習2日目・市内戦争遺跡巡り ②松永記念館の本土決戦陣地跡



<地下壕入り口>

(3班)

<概要と感想>

まず、松永記念館について、松永記念館は「電力王」と称され、戦前から戦後まで実業界で活躍をし、また茶道にも造詣が深かった松永安左エ門の自宅などを公開している施設です。次に本土決戦とは、日本本土で決戦を行うことで1945年(昭和20)4月、沖縄本島へのアメリカ軍の上陸が始まった頃、日本本土では最後の決戦を行うための準備が進められていました。その中で、この本土決戦陣地跡ではシャベルなどで穴を掘り、その名に兵器などの武器を入れていました。その穴には空気穴があり、地下壕と考えられています。しかし、1945年4月頃から、第84師団が駐留し、最初に行ったことはこのような地下陣地の構築でした。近くの国民学校には野砲84連隊の一部が駐留しており、その関連施設とも考えられています。

戦時中の食糧もない中、手掘りで固い地層をよく掘れたなと思いました。当時の技術力で真っすぐに空気穴は掘れていてすごいと思いました。

◎宿泊学習2日目・市内戦争遺跡巡り ③新玉小空襲の爆弾投下跡



<今も残る爆弾投下跡の周りで説明を聞く様子>

(1班)

<概要と感想>

新玉小裏の蓮上院の中にある爆弾投下跡です。73年前の8月13日に落とされた爆弾の跡で、数少ない投下跡です。なぜ、今も残っているかというと、北条氏が築いた土塁に着弾し、その土塁が歴史的な文化財だったからです。

自分たちは、この投下跡を見て、一つの爆弾でこれだけの土地や大事なものが無くなってしまい、本当に恐ろしいことだと思いました。蓮上院の住職さんは実際に戦争を体験していて、いろんな話をしてくれました。この投下跡を見ることができて、良い経験になりました。

◎宿泊学習 2日目 グループワーク「私たちが創る平和のまち小田原」



<グループワークの様子>

(4班)

<概要と感想>

「私たちが創る平和のまち小田原」といテーマを基にKJ法という方法を使い、みんなで意見を出し合いました。その意見をまとめて、その意見を実現するにはどうしたら良いのかを考えました。イベントを開く、SNSで伝える、ポスターを作る、、、などたくさんの意見が飛び交っていました。まとまった意見をもう一枚の模造紙に書いていきました。発表する準備です。企画書にする班、地図のようにする班、絵を描いてわかりやすくする班。どの班も色々な工夫をし、自分たちの意見が伝わりやすいように努力しました。

自分たちが考えがどうすればみんなに伝わるか考える。大変ではあったけど、班のみんなが一つになった気がしてうれしく、楽しかったです。

◎宿泊学習 2日目 戦時下の食事体験について



<戦時中の食事>

(1班)

<概要と感想>

これは、戦時中の食事です。実際に食べられていたのは、すいとん汁、芋づるのきんぴら、さつまいもです。これよりも少ないときもあったそうです。食べた感想は芋づるのきんぴらは、ごま油の香りが良く、おいしかったです。さつまいもはおいしかったけど、すごくパサパサで喉が渇きやすいです。すいとんは、かたくて、味も少し不思議でした。

班の人は、すぐに食べ終わっちゃったけど、戦時下だったらもっとゆっくり食べるんだろうなと言っていました。

◎宿泊学習 3日目◎

- ▶ 日時 平成30年8月18日(土)
- ▶ 場所 小田原市尊徳記念館
- ▶ 内容 (1) グループワーク(まとめ)
(2) 発表
講師: ナガサキ・ユース代表团

◎宿泊学習 3日目 グループ発表(1班)

私たちが創る平和のまち小田原

バージョン1
外国人の人が多い日本らしいものが好きで観光に来る人が多いので、外国人の皆さんにインタビューやアンケートで平和について聞く。

バージョン2
戦争の体験を多くの人に知ってもらうために、話し合い伝えていく場所をつくる。

PR方法
動画を作成し、YouTubeやTwitter等に公開する。動画に多言語の字幕をつけて、様々な人に見てもらおう。



◎宿泊学習3日目 グループ発表（2班）



<内容>

「伝える」・「PR」・「改善」・「整備」、「みんなに分かりやすく」で意見を分けました。

「伝える」は、戦争のことを小学生に覚えてもらったりなどのことです。

「PR」は観光客を増やすため戦争についてのツアーやスタンプラリーなどや特産品のかまぼこをみんなに知ってもらうためにマクドナルドとコラボしたりなどやYouTubeやTwitterを使ったり、キャラクターを使った商品を作るなどのことです。

「改善」は企業の誘致をして働く人を増やしたりなどのことです。

「整備」は千羽鶴を小田原駅のホームに飾るなどのことです。

「みんなに分かりやすく」は、本を使った子どもに分かりやすさの意見がでました。

◎宿泊学習3日目 グループ発表（3班）



<内容>

なぜ「PEACE & YOUTH」になったかというと、PEACEが平和で、YOUTHが若者たちで、若者に平和について考えてほしいという願いを込めてテーマにしました。

まず、「小田原をより良くするために」

- ① SNSを作り交流する。
- ② SNSをPRをする。（・小田原を知ってもらい、来てもらう。・パンフレットを作る。・ツアーをし、その中で戦争のことを知ってもらう。）
- ③ レビューを書いてもらい他の人に見てもらう。

次に「世界を平和にするために」

- ① 武器を減らす。② 戦争を無くす。③ 軍を無くす。
 - ④ 互いの国を知り、行く。⑤ 国同士仲良くなる。⑥ 貿易をする。
- 最後に「身近なことから始めよう」

- ① 交流を増やす。② 毎日楽しく、笑顔。③ いろいろな人と話し、みんなと仲良くなる。④ 助け合おう。

まず、小田原をより良くするために、世界を平和にするために、身近なことから始めよう！

◎事後学習◎

- ▶ 日時 平成30年8月28日(火) 13時30分～15時30分
- ▶ 場所 小田原市役所 7階大会議室
- ▶ 内容 (1) グループワーク
 - ・ 学習課題の仕上げ(スライド)
 - ・ 役割分担の確認(2) その他

◎事後学習 グループワークの様子



<発表練習の様子>

<内容>

事後学習では、パワーポイントの担当になったところの発表練習をして、本番の流れと同じように通して、練習を行いました。発表する人は大きな声で、聞く人はうなずきながら真剣に発表練習ができていました。発表は3か月後の11月だけど、2泊3日の宿泊学習で学んだことを事後学習で振り返り内容を明確にできたと思います。

私はパワーポイントを使うのは初めてだったので、赤いライトを指しながら発表するのは難しくて、上手くできませんでした。ですが、聞いている人が自分たちの方を見て話しやすかったので、緊張しましたが、良い発表になったと思います。

(2班)

◎ナガサキ・ユース代表団



左から 中島大樹さん、原田怜奈さん、酒井環さん、加藤市長、孫明悦さん、永江早紀さん



<二宮尊徳翁生家前にて>

- 1班（岡香澄、小林太陽、杉本ララ、天野煌己、牧野祐里子、島田健成）
 - 2班（鈴木陽菜、中村瑞希、裏岡映美、井上裕詔、原紗彩、浅沼千穂）
 - 3班（結城沙和、原謙心、山本徠登、曾我祐介、二村珠紀）
 - 4班（石垣銀次、小林樹、飯塚航大、高橋優斗、村井遥、澤地夏姫）
 - 5班（菅井琉誠、稲山瑠乃、高橋健、池谷太芯、須貝樹莉、湯山真唯）
- ナガサキ・ユース代表団（中島大樹、酒井環、孫明悦、永江早紀、原田怜奈）